

2005年12月16日

株式会社 富士キメラ総研  
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町  
2-5 F・Kビル  
TEL.03-3664-5811 FAX.03-3661-0165  
URL : <http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>  
広報部 03-3664-5697

## コンピュータ周辺機器市場調査を実施

- HDDは2010年に4,150億円規模へ(対04年比 122%) -

マーケティング&コンサルティングの(株)富士キメラ総研(東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 表 良吉 03-3664-5841)は、プリンタに代表される入出力機器や外部記憶装置など多機能化、高機能化が進むコンピュータ周辺機器市場についての調査を行った。その結果を調査報告書「2006 情報機器マーケティング調査総覧(下巻)」にまとめた。

本報告書では、1.表示装置(7品目)、2.入出力機器(17品目)、3.外部記憶装置(9品目)、4.外部記憶媒体(6品目)の合計39品目を調査した。

## &lt; 調査結果の概要 &gt;

## 表示装置、入出力機器、外部記憶装置、外部記憶媒体市場(39品目)・・・国内市場

分類	2004年	2010年予測	対04年比
表示装置	3,628億円	4,296億円	118%
入出力機器	1兆2,496億円	1兆3,710億円	110%
外部記憶装置	9,012億円	1兆1,323億円	126%
外部記憶媒体	2,452億円	2,937億円	120%
合計	2兆7,588億円	3兆2,266億円	117%

## 表示装置

デスクトップパソコンの主力であったCRTがモニターは、LCD技術革新により色表現や大画面などの優位性が薄れてきており、LCD需要に侵食されるかたちで急激に市場を縮小させていくと見られる。

LCDモニターは、2004年にCRTを逆転してデスクトップパソコンにおける主要モニターとしての地位を確立しており、大画面、高精細、動画対応など、更なる技術革新が進められることで一層の市場成長が見込まれる。また、LCDパネルの生産ライン拡充を背景に、更なる低価格化が見込まれる。

## 入出力機器

入出力機器は、コンピュータ周辺機器の45%を占め、コンピュータ周辺機器市場を牽引している。しかし、これまで新三種の神器の一つとして急激に市場を拡大してきたデジタルスチルカメラが、需要の一巡により従来のような好調な成長には陰りが見えてきている。一方デジタル複合機などOA機器に関しては、ネットワーク対応、カラー化などの高機能、高付加価値化を進めることで、競合製品市場の取り込みなどにより安定した成長を遂げてきている。プリンタはインクジェットの複合化によりコンシューマユーザを中心としたリプレース需要の獲得が見込まれる。またデジタル家電やカメラ付き携帯電話との連携によるホームDPEニーズの高まりが見込まれ、フォトプリントなどの新たな製品需要が拡大していく。

## 外部記憶媒体

CD-R/RWの低価格化により市場環境は厳しくなっているが、DVDドライブの普及を背景に当面はDVDメディア需要が高まると予測される。また、普及が進むブロードバンドサービスを背景として1コンテンツあたりのデータ容量が拡大しており、記憶容量の大きさをメリットとしてDVDメディアの需要増が期待される。

ビジネスユースにおいては、社会的責任や事業継続性の観点からデータ保存ニーズは高く、テープメディアなどの大容量メディアに対する安定した需要が見込まれる。

## 外部記憶装置

コンシューマパソコンなどのAV機能強化を背景とした高付加価値化が急速に進んでいる。読み取り専用ドライブから付加価値の高い追記・書換え可能なDVDドライブへと移行している。ハードディスクドライブ(HDD)は、コンピュータの記憶装置に止まらず、音楽プレーヤーやビデオレコーダなど利用用途の拡大により堅調な市場の拡大が見込まれる。

### 注目市場(国内市場)

#### 1. プラズマディスプレイ(業務用モニタ対象)

2004年 142億円 2010年予測 300億円(対04年比 211%)

大画面、薄型といった優位性を背景として商用施設や公共施設などにおけるインフォメーションボードとしての需要を獲得することで市場を拡大させている。また、遠隔監視やテレビ会議などの映像ソリューションにおける大画面・高精度ディスプレイとして活用されてきていることも、市場拡大の要因となっている。しかし、液晶をはじめとする薄型ディスプレイの大型化が進展しており、今後は、競合が激化する。

#### 2. HDD

2004年 3,410億円 2010年予測 4,150億円(対04年比 122%)

大容量化、高速化、小型化など技術革新が進んでいるため、主力分野であるコンピュータ外部記憶装置としての需要拡大に加え、デジタル家電分野の拡大により、今後も高い成長が予測される。有望需要分野としては、カーナビゲーションシステムや、プリンタやデジタル複合機などOA機器への搭載が挙げられる。カーナビゲーションシステムでは、DVDとの併用によるものから製品を単独で利用するものにシフトする方向にあり、カーディーラーによるデータ書換えサービスの体制も整いつつある。

#### 3. デジタル複合機

2004年 3,400億円 2010年予測 5,600億円(対04年比 165%)

デジタル複合機は、ドキュメントの管理などネットワークを活用した機能が求められてきている。このため各社ともネットワーク対応のほか、アプリケーションによるネットワーク機能の拡充が可能なモデルを投入してきており、こうした高付加価値モデルへ好調に市場を拡大している。また、オフィスドキュメントにおけるカラー機需要が高まっていることも市場拡大の大きな要因となっている。

#### 4. 追記・書換え型DVD

2004年 317億円 2010年予測 500億円(対04年比 158%)

各社の量産体制の整備によるDVDメディアの低価格化と、2011年より地上デジタル放送に全面的に移行することで、よりきれいな映像を保存用として残しておきたいというニーズが高まり、市場の拡大を後押しすると見られる。HDD内蔵DVDレコーダーの普及により、長期保存用途などの特殊な場合を除いて、録画はメディアを使用せずHDDで済ましてしまうという利用法が増えつつあることが市場に影響を与えると予測される。

#### 5. USB対応メモリ

2004年 150億円 2010年予測 370億円(対04年比 247%)

パソコンのUSBインターフェイスに差し込むだけで利用できるメディアであり、その使いやすさに対するユーザーの評価は高く、大容量コンテンツを容易に持ち運べる代表的な製品として市場拡大が見込まれる。CD-ROMとダウンロードに代わるソフトウェアの配布メディアとして、ソフトメーカーとのタイアップが進むことが予測される。ソフトメーカーは、店舗の周辺機器コーナーでパソコンソフト製品の訴求ができるため、新たなユーザー層の拡大が期待できる。

< 調査対象 >

対象	品目
表示装置	CRTモニター、LCDモニター、プラズマディスプレイ、LEDディスプレイ、プロジェクタ、電子情報ボード、資料提示装置
入出力機器	PPC、ファクシミリ、デジタル複合機、イメージスキャナ、フィルムスキャナ、デジタルビデオカメラ、デジタルスチルカメラ、マウス、タブレット/ディジタイザ、キーボード、PCカメラ、プリンタ、バーコードプリンタ、ワイドフォーマットプリンタ、オンデマンド・プリンティングシステム、スピーカー、PC用ヘッドセット
外部記憶装置	磁気テープ装置、ディスクアレイ装置、ハードディスクドライブ、光磁気ディスクドライブ、DVD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブ、CD-R/RW+DVD-ROMドライブ、追記・書換え型DVDドライブ、メモ리카ードリーダ/ライタ
外部記憶媒体	磁気テープ、光磁気ディスク、CD-R/RW、追記・書換え可能DVD、メモ리카ード、USB対応メモリ

< 調査方法 >

弊社専門調査員による調査対象企業に対してのヒアリング取材、及び社内データベースの活用により調査・分析を行った。

< 調査期間 >

2005年10月上旬～2005年11月下旬

以上

資料タイトル：「2006 情報機器マーケティング調査総覧（下巻）」  
体 裁 ： A4判 341頁  
価 格 ： 97,000円（税込み101,850円）  
CD-ROM付 107,000円（税込み 112,350円）  
調査・編集：富士キメラ総研 研究開発部門 第二研究開発部門  
TEL:03-3664-5841（代） FAX:03-3661-7696  
発 行 所：株式会社 富士キメラ総研  
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2-5 F・Kビル  
TEL03-3664-5841（代） FAX 03-3661-7696 e-mail:koho@fuji-keizai.co.jp  
この情報はホームページでもご覧いただけます。  
URL: <http://www.group.fuji-keizai.co.jp>